

ストーブを圍んで

—遊戯についてののはなし—

例月の保育座談會を改題しました。

時 日 一月二十一日午後三時から

場 所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

出席者 倉橋教授、堀主事、及川、新庄、菊池、神原、白根、坂口の各保母

神原 今日は遊戯を話題に願ひます。

及川 外國の幼稚園では遊戯はどんなのでせう。

堀 簡單なものですよ、遊戯が〇〇さんの云はれ

るようなものなら大變です。子供は遊戯をして

見せる事を喜ぶのだから遊戯は見せるためにや

ると云ふのですからね。子供の程度に合ふまい

が大人に見せるためにやる。

倉橋 其の考へは一掃しなくちやんならん。我々で

は思ひもよらぬ事だが事實はなかく多い。と

ところで、その「見せたい」氣持といふことを論

者の爲に一番よく解釋すれば、子供の心の中に

ある誇示の本能といふことになるのだらうが：

…。

堀 それはある。

倉橋 しかしそれを無批判に、不用意に、役者が見

物に見てもらつて拍手喝采に嬉しがるのと一緒

にするのは何としても間違だ。

堀 子供だつて大人が横で見て居てバチ／＼拍手

されて悪い氣はしないけれどね。

倉橋 本能としてそれがあるからね。

堀 大人に見せるためのやり方は子供の活動本能を満足させるには無頓着。

倉橋 假りに考へを進める順序として、見せるためにやるといふ言葉で成り立ち得る正しそうな意味をつきつめて見る行き方にしますか。

一同 (ちあ………)

堀 或は話の順序としては所謂目的をあげてそれから正式に批判して行くか。

倉橋 私は、一體遊戯は、して居るのを横から見ても、見てやらないの性質のものではないと思ふ。言ふ迄もなく、子供のための遊戯であるから、子供の心理に誇示本能があるとしても、それを満足させるために遊戯をするといふのは立論が誤だ。藤村だかの書いたものの中に、子供が芝居の眞似をして居る所に通りかゝつて立止ま

つて見て居たら、更に一層乘氣になつて、いろ

／＼と演じたといふ事が書いてあつた。即ち子供の心に見せたい氣のあるのは事實だが、初めからその氣を満足させる爲に遊戯をさせるとか、況や大人流な誇張を付け加へてまで行つたりするのは、大變な誤謬だ。

堀 そして正しい遊戯を惡用することになる。

倉橋 結果としてもさうなるね。子供自身からいっても、子どもとしての淡泊を踏み越すと自分の生活を害ふ。但しね。先生は子ども等自身のために、をどれといつて戸を閉めて、するが、といふのじやない。たゞ見られては居るが、そしてそこにひとつの淡泊な満足はあるが、それ以上にならないようにしなければならんと思ふね。

堀 アメリカあたりの子供の演劇は、學習の結果を出すので、父兄に入場券をとつてやる。此の

場合は作業そのものなり、入場料を取る事なりを實習させてゐるので、單純に見せる事を要求してやつてゐるのと程度が違ふ。

倉橋 思ひ出すが、今から十年近く前になるかしら、學校や幼稚園で子どもの演戲の公演が流行した時、僕は黙してゐるに絶えず、一人で反對した事があつた。その時多くの新聞などが、各方面の意見を集めて掲載したりしたが、反對論は僕一人でした。

堀 商賣的に仕舞をやつてみせるなどは、日本だけですよ。あれはをどりをやるよりも上手下手を見て貰ふて喝采を博する、見せるのが本體だ舞から來てゐる遊戯は多く見せるのを本體としてゐる。

倉橋 そういふのは論外としても、そして、子どもの誇示本能といふところに重點を置いて考へるとしても、教育は、それを如何に處置したがい

いか、その本能を満足させながらも、何方へ向けて行くべきかといふ事が大事の問題だ。若し誇示本能をそのまゝ、助長させるようなことをしたら大問題だ。そこで僕は斯う考へますね。自己本位の誇示欲から相手本位のエンターテインメントの方へ導くべきだとね。人間の教養としてエンターテインメントは大切だと思ふね。自分が黙つて何もしないでゐちや座が白けるから、周圍の人を愉快にするために歌ひもし、踊りもして見せるといふ心です。

堀 自分の持つ働きで人がよろこべばこれ程いい事はない。日本の隠し藝とは違ふね。

倉橋 日本の武士が宴會の時など、一つおさかなといつて、舞つたりしたのもそれだ。

(此時白根、坂口兩氏出席當番としてお茶菓子の用意の爲に遅れた故一同特に歓迎)

倉橋 つまり見せるといふ事をはなれて、時にはあ

お客様をよろこばせてあげる。

堀 子供の遊戯を見せてくれといふのに断らなくともよい。

倉橋 氣の毒な養老院などに行つて「エンターテイメント」でよろこばせてあげる。慈善を離れて「エンターテイメント」で、するのはいゝね。

誇示本能一點張りのと、はつきり區分出来るものです。假りに子供が誇示本能でやつても私を「エンターテイメント」してくれたと解釋して喜んで呉れる祖母さんや姉さんのやうな人の前でやるのも、其の一つの場合だね。

堀 世間のちさらへ會は、こんな出来るやうになつたとそれを見せる。

倉橋 これは面白い話になる。子供の親がよろこぶからといふよりは師匠があさらへ會によつて、新しい弟子入りをとるためだといふやうな下卑た話は除いてもね。私の仕込みでこんなにま

で、したのを見て下さいといふ氣がある。それは子供の生活の純粹性から見れば飛んだ横道

堀 そんな風な遊戯が多い。

新庄 そんな幼稚園が多いかしら。

倉橋 尠くも、一時は非常なものでした。學校へ視學様がいらつしやる。この際大いにやつて居る所をお見せしてそれで出世しようなんてのは別として——あり得る事ですがね、——不斷より一段と聲はりあげたり、遊戯をさせて御覽に入れたりする。親達にしても、遊戯の分らぬ人が多いので、子どもよりも大人自身の誇示本能が手傳ふものだから大變な事になる。非常な害があつたのですよ。その間、子供は無意識で居て呉れ、ばい、んだが、幼児ながらも自己意識が出て來るので、妙な神經質が出るんだね。その上、何時の會でも、うまい子を出すものだから

ら、さうなると誇示本能が「エンターテイメント」どころか、鼻もちもならない見せ心になるものだ。

堀 その時子供が無關心で踊つてゐるなら大人の材料になつてゐるのさ。

倉橋 輕業さして金をとつてゐるのと同じもの。まあ、この頃は、たんとはない。さすがに。

新庄 餘り聞きませぬね。

堀 幼稚園では少いでせう。機會が少いし、やるのに困難だから、ところが小學校ではね。……殊にラヂオに出るのが流行り出してから大變なものだ。あゝなると虚榮の問題になる。

倉橋 當人が發達してゐない事を考へりや、少くも危険な事をさせるのは間違ひだ。

堀 あれじや、大人のために子供は犠牲になつてゐる。

倉橋 一九三〇年に於てなほ且、そういふものがあ

りとすれば、幼稚園界から一掃しなけりやならん……と大見榮を切つて置かう。

○

堀 こゝらで方向を轉換して一體、遊戯の教育價値は何なの。

新庄 分らないんですよ。此方が伺ひたい所ですわ。

堀 何ういふ積りでやつてゐるんだね。

一同 ……………

倉橋 まあ、保育學入門に書いてある工合にいへばね、つまり、踊りたい氣持を満足させるためだ

堀 踊る事によつて心を満足させると同時に身體發達を促すといふ點もある。

倉橋 嫌ひな子供はありますか。

新庄 ありますわ。はじめは入りそびれたのですが、先生や、女の子の眞似してやるのが馬鹿々々しいつていふ氣持が見えますの。かなり強い所を

持つてゐる男の兒です。

及川 私の組にも、男の子にはちよい／＼ありますね。

新庄 その子供、唱歌の時は歌ひます。

及川 幼稚園でなくて、家ではする子供がありません。

堀 外ではよく遊びまはつてゐる子供が、遊戯はいやだつていふ事がある。三四年前或る幼兒が遊戯をしないで、僕の所へ「先生遊ばう」と引張りに來た。

菊池 あの子供は、小さい組の時は致して居りました。だが、小學校に行く前になつて、馬鹿らしいからつてやりませんでした。

及川 小さい組の時にしない人が多い様ですね。

堀 何うしても遊戯をさせなくちやならぬか。

新庄 そこ／＼そこちらが伺ひたいところですよ。他の事はよく出来る子供ですから遊戯は出来なく

てもまあ良いと責めないで居りますが……

堀 僕はそれでい／＼と思つてゐる。

新庄 だけど、かなり、我儘な子です。

倉橋 遊戯の價値は澤山あるけれど、懷疑的の見方をすれば、こつちで定めた動作の型に入れてゆくのだから、順應性の子供は外から型付けられるとほりにラク／＼順應出来るが、自己の強いものを持つてゐる子供にはそれが馬鹿らしい事もあらう。

堀 遊戯をやらせる事は悪くないが、やる遊戯が適當しないといふこともあらう。尤も、子供が明かに我が儘をいふ場合は、我が儘を過させない爲に、いやでもさせる時もあらう。訓練上から考へた場合だね。

新庄 その子供は、かなり我が儘ですよ。

堀 人には傾向がある。貴女方が百人一首の嫌ひな、そしてとれない私に百人一首をやらせよう

としてゐると同じもんで。

新庄 近頃 リトミックの話もあるし、遊戯は何うすれば一番いゝものでせうか。

倉橋 理論的には凡べて、子供の生活からとつて、料理し調理し、て與へてゐる譯のものだが、凡べての子供にピツタリあふ遊戯ばかりはないかもしれない。そこがむづかしいものだ。唱歌なんかでも、自分の氣持と無關係なものを歌はせられたり、自分の氣持に觸れて來ぬ遊戯をさせられたりするものは、つらいだらう。

新庄 大きい組になれば、もう習慣になつてゐるので、遊戯といへば一緒に集まつて待つて居りませうけれども、そうなる前、小さい組の時に、何うしたらいゝのですう。

倉橋 理論的にいへば、みんなと同じ手振に遊んでゐるグループブレイには調和的愉快が見出される筈だが、そのグループブレイに愉快がないと

すれば、その子の心に調和的なものが缺けてゐるかの疑ひも持てる。

堀 共同生活で、人がやれば自分もやりたくなる筈なんだが、「話」を聞く場合には、みんなと一緒に聞いてゐないにしても靜かにさへしてゐればいゝのだが、この方は體を動かさなくちやならんから分つてしまふ。

○

倉橋 横からホグスト、斯ういふこともいへる。幼稚園の保育事項は、どれもこれも同質的に配當してやつてゐるが、——やり方は課すではないが——實はその中に區別のあるものじやあるまいかね。製作は大體に於て皆がする方針でいつていゝもの。遊んでゐる間に子供は製作的要求があるんだから、いつでも製作させようといへば、大體その心になり得ようが、お話や遊戯はいつもその用意が出來てゐるものではない。但

しゝ話は大体受身のものだから、鑑賞態度のものだから、何時でもよろこぶが、踊れよ、歌へよの方はそれと同じ並にはいかぬものと思ふ。私は組立てゝもまあいゝと思ふが、たゞ製作は個々の動きを限定しないが、遊戯の方はこの手の足と要求が多すぎてゐる。

倉橋 しかし、さあ、踊る時間なのだから列を作つて集まつてといふ、あの取扱ひは疑を持つね。人間生活で何時でも踊れるのはモガかモボだけだらう。普通人はヒマがあつたら、踊りに行くんだからね。まあこの調子で成るべく緩やかに考へてやりたいのだが、今迄のやり方では教育的立場からは、凡べての子供に踊つてもらひたいので、投げ捨てゝはしまへない。

新庄 とすれば、その遊戯は絶対に教育的なものではなくちや。

堀 振附する人が進んで子供を研究するんだ。

倉橋 古い幼稚園では、幼稚園は歌つて踊つて、専ら藝術的、情操的だつた。勝負を争ふとか、競争とか、製作とかの實際生活はそりや淡かつた。今日の幼稚園はそれと違ふ筈だ。

新庄 始めて入園して來ますわね。その時一緒にピアノを弾いて歩かせて居るのですけどね。

倉橋 幼稚園の立前からの話で、子供には模倣本能もあるから行列を作つて歩くのは楽しい筈なんですよ。家じや勝手に歩いてゐるのだが、ピアノがボンと鳴つて立つのが面白いのでせう。その子供の氣持を主にしてね。

新庄 さう説明していたとけば安心しました。もつと外にいゝ方法がないものでせうか。

堀 はじめは一人二人でもいいゝ。次第について來るよ。

新庄 見てだけゐる子供にお入りなさい〜つていふんですか。

堀 さうじゃない。面白くなつて自分から入つて来る。

新庄 なか／＼自分からは入つて来られぬ子供があまりです。

堀 引張り出して来るか。

及川 私なんかは製作の方に忙しくつてついで話も遊戯もしない事が多いのですが。

倉橋 及川さんのブショイがはじまつた。だから先から貴女の方は向かないで話したんですよ（一同笑）

及川 全體が遊戯をしない幼稚園になつてしまつてはこまりますね。

倉橋 さうなるとね、何處がいけないかといふに、遊戯の價値を知らない、子供の遊戯をしたい氣持をとつてやれないのだと責めますよ。只、机の上で遊戯は必ず何時間と配當するのを非難するのです。

堀 自由遊びの中で既にをどりをやつてゐる。私は現在やつてゐるやうなものに大なる價値を認めないものがある。

倉橋 わがまゝは子供許りぢやない。（一同笑）

及川 上手にピアノを弾いて、子供がよつて来るよ、うだといふんですけど。

倉橋 そのようはさしますね。話の時に出て出たのと同じです、製作なら誰にでも、出来るけれど——幼稚園の中に、ハリノアナバツロバでも居て「氣の抜けた白鳥」でも踊れるとね。

及川 主事さんがそんな説で、いゝ事にしてこれで遊戯をしなくなつたら、反動でこちらから遊戯をしなければといふ事になりませうね。

倉橋 急所をつきますね。僕等の説も反動なんだ。幼稚園の生活が餘り弛緩して、たまらない所からの反動説でこれが過ぎれば又及川式反動となる。

及川 つまり、さう盛にやらなくてもいゝといふ事に
なりますね。

新庄 みんな踊つた方がいゝんですわね。

倉橋 願はしい。

及川 入園して、幼稚園に入つたらしく目立つもの
がないから、

倉橋 組全體としての形としては話をしてだまらせ
るか、「お手々つないで」よりない。

新庄 いやだつてしない子供を一人ぢつとさせとく
のは氣持が悪くて仕様がなくてすけれど。

及川 嫌ひな子供は遊戯室にゐない。が仕事するの
でもない。だから遊戯室へ連れて來て見せてお
きます。

倉橋 特別な強い個性を持つてゐるから許りでなく
缺陷もある。

新庄 わがまゝからだとも思ひますのは、そのいや
な所をとほり抜けてしまへばいゝと思ひますの

に……

倉橋 意識型の子供は遊戯に入れられると馬鹿つば
く感ずるかも知れない。あれは一寸酔つて居る
形ですからな。

新庄 意識型の子供は、すこしみんなより下手だと
思つたらよしてしまひますね。

堀 負け嫌ひ

倉橋 村で、みんなの踊る時に踊らぬ青年はひねく
れたのが多い。踊る方が自然です。變質の子供
としては誰さんと一緒なら踊るといふ場合があ
る。そんな子供は、案外みんなの行き過ぎた後
獨りで踊つて居る事がある。成るべく先生とし
ては、一緒にさせようと努力なさることだ。

堀 なめらかにさ。

倉橋 昔は、子供の踊りやドラマティックのものは
すべて藝術の型になつたものから學んだ。芝居
や踊りを見て眞似た。この頃は子供の中にあ

る踊らんとする氣持を出す、その所が違ふ。

昔の子供は随分踊つた。私なんか芝居許りして居りましたよ。その内容は教育的には不適當なものだつたけれど、藝術の型からあきかへられたものは印象深いものがあります。だからあの時分戸棚の中や物置の中でやつて來ましたが、今頃のはそれ程にやつてみたいのがなくて、猫のまね犬のまねとかですから、淡いようです。つまりやつぱり踊りのうまい先生がいる。

堀 自由畫と臨畫のようなものさ、筋肉の發達にもよるし、大體手足の動き方もさまつてゐるのだから、適當な型によつて練習させて行く事は必要だ、何でも自分の型に入れるといふのはい

○

い。ゲームが多いね。日本はそれが少なすぎる

新庄 何ういふものをすればよろしいでせう。

堀 自由遊戲の名で行はれてゐる室内遊戲をとり入れるといふね。昔はあつたがこの頃は尠い。殆んどない。まるく輪になつてゐるセンターにボールをおくる、と又ピアノに合せて行進するのを西洋でやつてゐるが、日本じや遊戲室に入るとたゞ踊るのばかり。

新庄 女の子は遊戲をしてくれと云つて來ますよ。そこは女の子とばかりでなくみんなと致しますが。

堀 ソーシャル、ゲームを澤山取り入れる事は實際問題として必要ですね。あの「椅子とり」のうなもの。一つゲームがすむとピアノに合せて歩く。あの歩き方にリズムが入つて來る。

堀 時々思つてゐるのだが、スキップは一組でかたまつてしてゐるようだけでも、いはゆる振

(以下四八頁につづく)

(此御製は大正十二年震災迄は別室に奉揚してありましたが現在は如何なりしや)

其職員は、攝理中村正直氏、幹事永井久一郎氏、幹事田中直吉氏、教師柴田某氏、同關信三氏、教師大村斐夫氏、同茂木喜太氏、同淺岡一氏、教師宮川保全氏、同村岡爲範馳氏、同北條直氏(以上男職員)、教師松本荻江氏、同竹村千佐氏、同棚橋綾氏、同近藤スワ氏、同福田某氏、舍監藤川某氏、舍監山川二葉氏、此外體操の先生は忘れしました(以上女職員)

此女職員は、幼稚園職員同様に、髪は年長者丸まげ若きはいてふ返へしに結つて、しまの袴をはき生徒は唐人まげに白丈け長をかけ、銀製一インチ位の櫻花のかんざしの花瓣に、女子師範學校と彫つたものを學校の紀章としてさし、袴は瓦斯じまの大がらの藍じまを着用されました。

此本校敷地は、其當時現在の約三分の一で夫れは其隣に、男子師範學校(現今東京高等師範學校)がありまして、其後(年月不明)此男子師範學校

が、大塚に移されて其建物敷地は、全部現在の女子高等師範學校に併合せられ廣くなつたのです。

(現在の本校正門は昔時男子師範學校の正門で現在の通用門は昔時女子師範學校の正門なりし)

以上此校園も遠からず大塚に新築移轉せらるゝ事となり、此お茶の水の地に永久別るゝ事の惜別の情禁ずる能はず、爰に此校園に對し、思ひ出の記事をなす。

(三八頁よりつゞく)

を附けた遊戯の中にもあんなのが入つたらと思ふ。

新庄 ございますよ。

倉橋 もう此邊でも菓子を下さい。今日は少し僕がしゃべり過ぎたらしい。

堀 現在振つけの遊戯を子供に人氣投票して見ちや何う。

及川 子供ひとりづゝで書いてみませう。